

緑の保全と創出について

問 ①緑を創出する政策にはどのようなものがあるのか。②平成11年策定の「緑の基本計画」では年次目標を平成30年とし、緑地の目標を市域の30%としているが現況は。

答 ①平成22年度に清水川用地を取得し平成24年度整備予定。平成25年度以降は樹林地を計画的に取得予定。②目標には至っていないと推測している。

須田 繁美

高齢化の現状と支援、地域包括センターの現状とDV問題

問 ①包括支援センターでは1人当たり219人に対応している。高齢者の増加に対応するためセンターの増設、対応する増員の考えは。②市内でも高齢者の虐待事件はあるのか。

答 ①対象となる高齢者数から適切な配置しており、現在増設・増員は考えていない。②ある。

栗山 欽行

行政の責務の明確化をー安心・安全なまちづくりについて

問 ①行政の責務を明確化した安心・安全条例を未制

定の自治体は多摩地域で6自治体のみとなった。条例制定は不可避であると思うが。②協力団体への補助金が必要と思うが。

答 ①安心・安全の確保を推進する総合的な基本条例制定の調査・研究を指示。これまでより高い段階に発展させた。②今後研究していきたい。

放送中止まで半年ー地上波デジタル放送への対応について

問 ①市民への周知、公共施設では今後活用を踏まえFTTH対応が必要と思うが③学校ではオンデマンド放送対応等授業での活用が不可欠と思うが。

答 ①デジサポ東京西とともに周知。施設運営主管課で対応②フレキシブルな施設整備が重要③受像機器はパソコンと接続が可能、オンデマンド放送対応も含め多様な展開が可能。

在宅医療廃棄物処理の廃棄物の現状と課題について

問 ①増加する在宅医療廃棄物処理量、適正処理の周知徹底についての認識。②医療器具は医療機関以外でも調達可能、注射針等の回収量増にあわせ補助金の拡大が必要と思うが。

答 ①注射針は薬剤師会のご協力のもと市内薬局で回収し家庭ごみに混入することのないよう周知。②事故防止・感染防止のため回収事業継続を含め検討する必要がある。

谷田部 和夫

高齢者が安心して暮らせるまちづくりについて

問 ①災害時要援護者支援制度の進捗状況。②高齢者の生きがいづくりの具体的な考え。③高齢者が住みなれた地に住み続けられるための生活環境整備について。

答 ①要援護者名簿登録希望者の登録作業中。②老人クラブ活動費助成や関係機関と連携し事業の開催等。③介護保険サービス利用量を見込み、確保のための計画を策定。

児童・生徒の学力向上の取り組みについて

問 ①全国学力・学習状況調査の実施方法と柏江市の対応。②平成21年度の調査結果の課題への取り組み。③平成22年度の分析と課題。④4年間の総合評価と今後の活用について。

答 ①小中全校一斉実施②授業改善プランを作成し指導計画の見直しや指導方法を改善③分析後の課題の明確化を図った④学力傾向の経年変化を把握し実態に即した指導に活用。

新しい行政評価制度の導入について

問 ①外部評価委員会の設置目的と期待される成果。②行政評価から得られる行財政改革への効果。③今後の財政フ

レームと行財政改革への取り組みについて。

答 ①施策の点検・検証。より効果的効率的な施策展開を図る。②評価などを通じて行革を推進。③不足額を行革推進で捻出。計画の見直しや環境対応も含め行革全体を進める。

白井 明

まちづくりについて

問 三中の生徒数は以前から一中と統合予定の四中より少なく教育委員会の基準も下回り旧四小跡地に移転させる合理的な理由はない。都市計画法上からも移転は困難と思うが。

答 都市計画変更の手続きは、近隣住民の理解のもと進める必要がある。調布市とも調整を図り、団地住民の地区計画策定の取り組みの動向を見ながらの整理が必要と考える。

浅野 和男

交差点の街角表示のないうところが大変多いが表示の徹底について

問 交通事故、火災、犯罪などが発生したとき、警察・消防等に早急に連絡する場合現在位置を正確に報告するために街角表示が必要である。未表示箇所を漸次減少してほしい。

答 速やかに発生場所を告げられることは安全対策の一つでもあり、今後住居表示、案内標識等の設置のあり方、方法等研究を重ねていく。

緊急道路啓開(障害物除去)路線の存在及び意義の周知について

問 当該道路は震災時に道路規制を優先的に行うが、柏江市では防災マップに示している。当該道路の存在及び意義を市民に有効に周知する方法を検討していただきたい。

答 柏江市防災マップ及び柏江市地震ハザードマップは全戸配布して周知を図っている。

西村 あつ子

学童クラブの充実を

問 ①三季休業中の開所時間を早く。②建設予定の給食センターを活用し学童へお弁当の配食を。③学童卒業後の居場所づくりが必要。フリープレイの充実を。

答 ①職員体制等の必要があり、検討する。②給食センターに限らず、現段階では実施が困難。③市民等の要望や意見を聞いて検討する。

航空計器跡地へのマンション建設について(その3)

問 ①保育園設置は調整会の意見を尊重すべき。②平成20年10月31日からの庁内協議の考え。③調整会の結論は最大限尊重すべき。④この問題での基本的な考えは。

答 ①調整会の見解を基本に考える②まちづくり条例の手続前の庁内協議③可能な限り尊重④住民、事業者、市がまちづくりの主体として認識し合い良好な環境を形成していく。

田中 智子

高齢者の不安を解消するためにー介護・医療・福祉の連携をー

問 ①老老介護の具体的な実態把握と医療ニーズの調

査を。②ショートステイの現状は。③特養ホーム建設にあわせショートステイと在宅支援策を。④医療と介護の連携の強化を。

答 ①調査や相談から把握。②要望が多く受けられない状況。③介護保険推進市民協議会で検討。④医師会の協力で連携シートで連携する。

より安全でおいしい中学校給食のために

問 ①喫食率向上の取り組みについて②旧第七小跡地につくられる給食センターの検討状況③給食センターでの給食の提供方法は④計画が具体化された段階で関係者に説明を。

答 ①試食会、栄養士の学校訪問、献立のアンケート調査等工夫②7回の会議で整備方針、整備計画を検討。先進市も視察③市教委の報告内容は配慮する④情報提供に努める。

市道の改良工事と花いっぱいについて

問 ①元和泉二丁目周辺には改良工事が必要な箇所がある。今後の計画は。②少なくとも上部にふたのない危険なU字側溝は改善すべき。③今後の花いっぱいエリアの取り組み。

答 ①工事が必要な箇所として考えている。②現場調査を行い、ふたかけを行う。③23年度も内容を充実させ、エリアを広げられればと考えている。



行政評価委員会

行財政改革について

問 正規職員460人で嘱託職員数は376人だが①